

こども家庭センターだより

あした

明日もしあわせ通信 (第89号) 令和5年11月

よろしくお願いたします。

10月1日の人事異動により、こども家庭センター長を兼任することになりました子育て支援課長の太森真喜恵です。

こども家庭センターに在職しておられる様々な職種の先生方と共に精一杯がんばりたいと思います。

こども家庭センターには、日々こどもに関わる様々な相談が寄せられていますが、相談者1人1人に寄り添いながら、引き続き伊予市のこどもたちやその保護者の皆様、気軽に相談できるセンターを目指してまいります。

昨今、少子高齢化が加速する中、子育て環境は、ひと昔前とは大きく様変わりしています。ITの進化とともに、ネット上のつながりは簡単になった反面、リアルな場面での人と人とのつながりが希薄となり、そのことが子育てに大きく影響していると感じています。ネット上では、何でも瞬時に調べることができる反面、様々な情報に惑わされ、必要以上に不安になったりすることがあるのではないのでしょうか？

そのような時は、ぜひ、こども家庭センターにご相談ください。

こども家庭センターには、多くの経験を積まれたベテランの先生方がいますので、あたたかく熱心に相談にのってくれますよ。

さて、ここからは私の趣味の話をしていただきます。私の趣味は、パンを焼くことで、休日には、ほぼ毎週のように、色々なパンを焼いています。

粉から、パンの形になっていく、その魅力に取りつかれており、今後も大好きなパンを焼いて、ストレスを解消しつつ、こども家庭センター業務に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。



教育支援教室「はばたき」 「一人で悩まず、一緒に考えませんか。」

地区別懇談会で上映されている「夕焼け」のビデオを使って、はばたき教室の子どもたちもヤングケアラーについて学習しました。ビデオの内容は、家の大黒柱として働く母親の代わりに中学生の女の子が、弟の世話や夕食づくりなどをして家族を支えます。やがて、心も体も疲れ果てるがだれにも相談できず悩んでいると、元担任の先生が、

「一人で抱え込まず、しんどい時はしんどいと言って周りに助けてもらったらいんだよ。」
と言った言葉から、地域に支えられて元気になっていくお話です。



はばたき教室の子どもの中にも、「しんどい」と言えず頑張っていたが不登校になった子もいます。その子は、ビデオを見た後「一人で悩んでいた自分を思い出して、涙が出そうだった。これからは何があっても強く生きたい。」と当時の自分と重ね合わせて感想を話してくれました。

現在、はばたき教室に通っている子どもたちは、少人数で学習や運動、実習をして元気を取り戻し、友達同士が話すことで徐々に自信がつき、学校への登校にもつながっています。

学校に行きにくくなって誰にも相談できず、悩んでいるご家族の方や児童生徒の皆さん、家族だけで悩まず、いつでも気軽に見学や相談にお越しください。(H・T)

はばたきのTEL 089-989-5022 直通の携帯 080-2974-4581

【生みの親より育ての親】

「生みの親より育ての親」とは、自分を生んでくれただけの実の親より、養育してくれた親の方がありがたいという意味ですが、私はこのことわざを見て、すぐに「里親制度」のことを連想しました。

「里親制度」は、児童福祉法に基づき、貧困や虐待などを理由に実親と暮らせない18歳未満の子どもを、家庭的な環境で育てるという仕組みです。

現代社会においては、児童虐待やいじめ、DVなどが増加し続けており、子どもたちを取り巻く環境は、ますます厳しいものとなっております。そういった状況の中で「里親制度」は、子どもを困難な状況から救うための一つの手段として、その重要性を高めております。(10月は「里親月間」です。)

しかしながら、その制度についてよく知る

人はまだまだ少なく、世間の認知度を上げていくことが必要な状況です。

また、制度を利用している側からも

- ・自分の名前の由来がわからない。
 - ・誕生時や幼少期のエピソードがない。
 - ・母子手帳、乳児期の写真、赤ちゃんの時に使っていたものがない。
 - ・過去の辛い出来事を思い出してしまう。
- などの、心を痛めているという声が多数上がってきております。

何事においても、光と影の部分があり、そのことをよく理解したうえで子どもたちのために制度の利用を進めていくことが必要となります。

以上「ことわざシリーズ⑩」でした。

(E・F)



おおぞら通信

よい季節になりました…



「おおぞら」がオープンして5か月が経過しました。「わくわくクッキング」や「夕食会」に「ミニ遠足」と、「おおぞら」が企画する行事も少しずつ軌道に乗り出したようです。

異常といわれた猛暑も何とか乗り越え、やっと過ごしやすい気候になりました。11月は「食欲の秋」「スポーツの秋」「読書の秋」と、何をするにも絶好の季節です。「おおぞら」では、紅葉狩りなどで自然を満喫したり、スポーツに親しんだりする機会を提供していきます。また、クリスマスに向けてのリース作りなど、季節を感じる体験活動を、今後もさらに充実していく予定です。

「おおぞら」は登校できない子どもたちの、居心地のよい「居場所」です。お子様の不登校やひきこもりなどで、困ったり悩んだりしている保護者の皆様、気軽にご相談ください。

(T.M)



(☎ 989-5014)

発達支援巡回相談

「もどってきました」

先月は秋祭りが盛大に行われた所が多かったようです。子ども達はお神輿や獅子舞やちょうちん行列に参加し、以前のような活気が戻ってきたように感じられました。私は地域のちょうちん行列について行きました。近所の子がもう中学生になっていてびっくりしたのですが、お菓子を分けるときに「小さい子からどうぞ。」と言ってくれて嬉しく思いました。子ども達はお菓子をたくさんもらって嬉しそうに帰っていきました。年上の子が活躍している姿を年下の子が見られるという機会が戻ってきました。

お祭りの後はハロウィンで、小さい子ども達はまたお菓子をもらえて嬉しかったようです。楽しいイベントが戻ってきて以前のような日常が戻ってきている感じが嬉しいです。(A)



伊予市子ども家庭センター

伊予市尾崎3-1

伊予市総合保健福祉センター2階

☎089-989-6226

